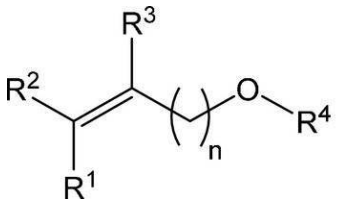
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年6月3日(2025.6.3)

【国際公開番号】WO2024/062932
【出願番号】特願2024-548191(P2024-548191)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ２２０/１２(2006.01)
Ｃ０８Ｆ２２０/２６(2006.01)
Ｃ０８Ｆ２２０/１６(2006.01)
Ｃ０８Ｆ２９０/０６(2006.01)
Ｆ１６Ｆ １５/０２(2006.01)
Ｆ１６Ｆ １５/０８(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ２２０/１２
Ｃ０８Ｆ２２０/２６
Ｃ０８Ｆ２２０/１６
Ｃ０８Ｆ２９０/０６
Ｆ１６Ｆ １５/０２ Ｑ
Ｆ１６Ｆ １５/０８ Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月10日(2025.3.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（ａ１）で表される多官能重合性化合物（Ａ）０．０５～９．５質量％、及び
重合性単量体（Ｂ）９０．５～９９．９５質量％
を含む、制振材用組成物。
【化１】



（ａ１）

[一般式（ａ１）中、Ｒ^{1}～Ｒ^{3}は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数１～６のアルキル基、炭素数２～６のアルケニル基、炭素数６～１２のアリール基又は炭素数７～１３のアラルキル基を表し、Ｒ^{4}は、（メタ）アクリロイル基、ビニルフェニル基又は炭素数２～６のアルケニル基を表す。ｎは、１～６の整数を表す。]
【請求項２】
前記一般式（Ｉ）中のＲ^{1}及びＲ^{2}が水素原子であり、Ｒ^{3}が水素原子又はメチル基であり、ｎが１～４の整数であり、Ｒ^{4}が（メタ）アクリロイル基又はビニルフェニル基である、請求項１に記載の制振材用組成物。
【請求項３】

前記（Ｂ）成分が単官能重合性単量体（Ｂ１）を含む、請求項１に記載の制振材用組成物。

【請求項４】

前記（Ｂ１）成分が（メタ）アクリロイル基を有する、請求項３に記載の制振材用組成物。

【請求項５】

前記（Ｂ１）成分が、アルキル又はシクロアルキル（メタ）アクリレート（Ｂ１－１）及びヒドロキシアルキル（メタ）アクリレート（Ｂ１－２）からなる群から選択される少なくとも１種を含む、請求項３に記載の制振材用組成物。

【請求項６】

前記（Ｂ）成分が多官能重合性単量体（Ｂ２）を含む、請求項１に記載の制振材用組成物。

【請求項７】

前記（Ｂ２）成分がポリ（メタ）アクリレートを含む、請求項６に記載の制振材用組成物。

【請求項８】

前記ポリ（メタ）アクリレートが、ウレタンポリ（メタ）アクリレート及びエポキシポリ（メタ）アクリレートからなる群から選択される少なくとも１種を含む、請求項７に記載の制振材用組成物。

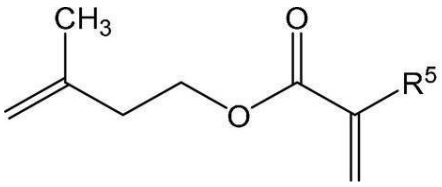
【請求項９】

前記（Ｂ）成分総量に対する前記（Ｂ２）成分の含有量が２０質量％以下である、請求項６に記載の制振材用組成物。

【請求項１０】

前記（Ａ）成分が下記一般式（ａ２）で表される多官能重合性化合物である、請求項１に記載の制振材用組成物。

【化２】



（ａ２）

[一般式（ａ２）中、R^5は、水素原子又はメチル基を表す。]

【請求項１１】

さらに（Ｃ）重合開始剤０．１～３質量％を含む、請求項１に記載の制振材用組成物。

【請求項１２】

請求項１～１１のいずれか１項に記載の制振材用組成物を硬化してなる制振材。

【請求項１３】

請求項１２に記載の制振材を含む部材。